



平成29年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成29年2月10日

上場取引所 東

上場会社名 ワイエイシイ株式会社
 コード番号 6298 URL http://www.yac.co.jp
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 百瀬 武文
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理本部長 (氏名) 寺本 和政 TEL 042-546-1161
 四半期報告書提出予定日 平成29年2月14日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成29年3月期第3四半期の連結業績（平成28年4月1日～平成28年12月31日）

(1) 連結経営成績（累計） (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
29年3月期第3四半期	21,825	22.8	526	143.9	605	165.6	397	—
28年3月期第3四半期	17,775	67.9	215	—	228	—	△133	—

(注) 包括利益 29年3月期第3四半期 250百万円 (—%) 28年3月期第3四半期 △167百万円 (—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
29年3月期第3四半期	44.49	44.19
28年3月期第3四半期	△14.91	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
29年3月期第3四半期	33,374	13,567	39.9
28年3月期	34,760	13,498	38.1

(参考) 自己資本 29年3月期第3四半期 13,301百万円 28年3月期 13,240百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
28年3月期	—	10.00	—	10.00	20.00
29年3月期	—	10.00	—	—	—
29年3月期(予想)	—	—	—	10.00	20.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成29年3月期の連結業績予想（平成28年4月1日～平成29年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	30,000	17.4	1,500	85.7	1,350	147.0	890	3,075.1	99.68

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動： 無
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

詳細は、添付資料3ページ「2. サマリー情報（注記事項）に関する事項（2）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数（普通株式）

- ① 期末発行済株式数（自己株式を含む）
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数（四半期累計）

29年3月期3Q	9,674,587株	28年3月期	9,674,587株
29年3月期3Q	745,801株	28年3月期	745,801株
29年3月期3Q	8,928,786株	28年3月期3Q	8,925,669株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外ですが、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表に対するレビュー手続を実施中でありま

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページの「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 継続企業前提に関する重要事象等	4
4. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	8
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報等)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間における世界経済は、英国のEU離脱問題や米国の大統領選挙の影響などから為替レートの乱高下が見られるなど、先行き不透明感が広がる中、米国では雇用や個人消費が引き続き堅調に推移し、中国では景気の減速に一服感が広がるなど、総じて緩やかな回復基調で推移しました。

日本経済においては、先行き不透明な世界経済の影響による下振れリスクはあるものの、政府・日銀による経済政策を背景に、堅調な雇用や個人消費に持ち直しの兆しが見られるなど、緩やかな回復基調で推移しました。

このような経済状況のもとで当社グループは、刻々と変化する顧客ニーズを捉えた装置の開発と市場化に努めてまいりました。

その結果、当第3四半期連結累計期間の業績は、売上高218億25百万円(前年同四半期比22.8%増)、営業利益5億26百万円(同143.9%増)、経常利益6億5百万円(同165.6%増)、親会社株主に帰属する四半期純利益3億97百万円(前年同四半期は親会社株主に帰属する四半期純損失1億33百万円)となりました。

セグメントの業績は次のとおりであります。

(ディスプレイ関連事業)

スマートフォンやタブレット端末向けのエッチング装置が好調に推移し、また、収益性の向上に関する取組により改善が見られるなど、総じて堅調に推移しました。

これらの結果、ディスプレイ関連事業の売上高は108億54百万円(同1.5%増)となり、セグメント利益は3億36百万円(同221.2%増)となりました。

(メカトロニクス関連事業)

前連結会計年度下期より連結対象となったワイエイシイガーター株式会社が当連結会計年度においては期初から業績に寄与しているほか、当第2四半期連結累計期間よりミュキエレックス株式会社(現、ワイエイシイエレックス株式会社)を新たに連結対象に加えたこと、また、太陽電池関連装置及び新型バーニッシュ装置の大口需要を取り込み、業績は好調に推移しました。

これらの結果、メカトロニクス関連事業の売上高は98億48百万円(同64.2%増)となり、セグメント利益は4億67百万円(同19.2%増)となりました。

(クリーニング関連その他事業)

クリーニング関連装置分野においては、顧客需要を確実に取り込み、業績は底堅く推移しました。

これらの結果、クリーニング関連その他事業の売上高は11億23百万円(同3.6%増)、セグメント利益は1億22百万円(同8.1%増)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第3四半期連結会計期間末における流動資産は253億13百万円となり、前連結会計年度末に比べ14億67百万円減少しました。主な増加は、現金及び預金20億45百万円、商品及び製品1億84百万円、主な減少は、仕掛品20億89百万円、受取手形及び売掛金12億75百万円であります。固定資産は80億60百万円となり、前連結会計年度末に比べ80百万円増加しました。その結果、総資産は333億74百万円となり、前連結会計年度末に比べ13億86百万円の減少となりました。

(負債)

流動負債は132億54百万円となり、前連結会計年度末に比べ11億14百万円減少しました。主な増加は、前受金4億60百万円であり、主な減少は、短期借入金9億17百万円、未払法人税等3億83百万円であります。固定負債は65億51百万円となり、前連結会計年度末に比べ3億41百万円減少しました。主な減少は、長期借入金4億16百万円であります。その結果、負債は198億6百万円となり、前連結会計年度末に比べ14億56百万円の減少となりました。

(純資産)

純資産は135億67百万円となり、前連結会計年度末に比べ69百万円増加しました。主な増加は、利益剰余金2億18百万円であり、主な減少は、為替換算調整勘定1億96百万円であります。その結果、自己資本比率は39.9%(前連結会計年度末は38.1%)となりました。

（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成29年3月期の連結業績予想（通期）につきましては、平成28年5月16日に公表いたしました通期連結業績予想値に変更はありません。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

（1）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

（2）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

（会計方針の変更）

（平成28年度税制改正に係る減価償却方法の変更に関する実務上の取扱いの適用）

法人税法の改正に伴い、「平成28年度税制改正に係る減価償却方法の変更に関する実務上の取扱い」（実務対応報告第32号 平成28年6月17日）を第1四半期連結会計期間に適用し、平成28年4月1日以降に取得した建物附属設備及び構築物に係る減価償却方法を定率法から定額法に変更しております。

なお、当第3四半期連結累計期間において、四半期連結財務諸表に与える影響額は軽微であります。

（追加情報）

「繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針」（企業会計基準適用指針第26号 平成28年3月28日）を第1四半期連結会計期間から適用しております。

3. 継続企業の前提に関する重要事象等

当社グループは、前連結会計年度におきまして、主に当社の売上増大に伴って期末売掛金残高が増加したため、重要なマイナスの営業キャッシュ・フローが生じ、この結果3期連続で営業キャッシュ・フローがマイナスとなりました。また、当社は前事業年度におきまして、重要な営業損失、経常損失及び当期純損失を計上し、2期連続で営業損失となりました。このような状況により、継続企業の前提に重要な疑義を生じさせるような状況が存在しております。

しかしながら、前期末売掛金につきましては、大半が1年程度での回収が見込まれており、また、平成28年4月に立ち上げた高収益体質プロジェクトにおいて、営業利益を確保した上で更なる収益力の強化を図る活動に取り組んでおります。当社グループは第3四半期累計期間において、5億26百万円の営業黒字を確保しております。今後も、継続して売掛金回収強化を図るとともに、更なる収益力の強化を図る活動に取り組んでまいります。

これに加え、メイン銀行を中心とした取引金融機関よりの金融支援体制も十分であります。なお、当社は平成28年9月1日付でりそな銀行に15億円のコミットメントラインを設定しました。また、当社グループは平成29年4月1日には持株会社制への移行も予定しており、キャッシュ・マネージメント・システムの導入によりグループ各社の資金を効率的に活用してまいります。

以上により、継続企業の前提に関する重要な不確実性は認められないと判断しております。

4. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位:千円)

	前連結会計年度 (平成28年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成28年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	5,397,972	7,443,364
受取手形及び売掛金	12,342,531	11,067,422
有価証券	84,431	50,159
商品及び製品	278,827	462,940
仕掛品	6,621,669	4,532,232
原材料及び貯蔵品	921,680	932,496
繰延税金資産	314,518	294,948
その他	935,652	628,243
貸倒引当金	△115,906	△97,950
流動資産合計	26,781,377	25,313,857
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	3,298,197	3,588,451
減価償却累計額	△2,501,499	△2,733,177
建物及び構築物(純額)	796,697	855,273
機械装置及び運搬具	2,054,866	1,798,994
減価償却累計額	△1,560,015	△1,376,279
機械装置及び運搬具(純額)	494,850	422,714
工具、器具及び備品	3,144,482	3,232,644
減価償却累計額	△2,671,446	△2,843,850
工具、器具及び備品(純額)	473,035	388,793
土地	3,034,422	3,080,922
リース資産	131,643	99,843
減価償却累計額	△82,081	△45,638
リース資産(純額)	49,562	54,204
建設仮勘定	494,452	494,638
有形固定資産合計	5,343,021	5,296,547
無形固定資産		
のれん	831,166	725,955
ソフトウェア	62,397	60,653
リース資産	19,590	13,658
電話加入権	19,603	20,716
特許実施権	108,000	81,000
その他	9,147	5,171
無形固定資産合計	1,049,905	907,155
投資その他の資産		
投資有価証券	1,111,116	1,325,929
長期貸付金	153,446	152,635
繰延税金資産	221,900	200,989
長期滞留債権等	78,873	164,237
その他	283,164	346,380
貸倒引当金	△262,205	△333,730
投資その他の資産合計	1,586,295	1,856,441
固定資産合計	7,979,223	8,060,144
資産合計	34,760,600	33,374,002

(単位:千円)

	前連結会計年度 (平成28年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成28年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	7,069,728	6,950,919
短期借入金	5,246,947	4,329,394
1年内償還予定の社債	300,000	300,000
リース債務	24,092	27,333
未払法人税等	425,343	42,138
賞与引当金	261,696	171,217
製品保証引当金	215,322	164,635
未払費用	400,597	336,898
前受金	118,813	579,400
その他	306,113	352,503
流動負債合計	14,368,655	13,254,441
固定負債		
社債	700,000	700,000
長期借入金	4,856,093	4,439,164
長期未払金	61,853	5,983
リース債務	47,761	43,577
繰延税金負債	71,431	126,328
役員退職慰労引当金	63,853	79,974
退職給付に係る負債	1,015,493	1,062,535
資産除去債務	48,718	65,688
その他	28,442	28,448
固定負債合計	6,893,648	6,551,701
負債合計	21,262,303	19,806,142
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,756,680	2,756,680
資本剰余金	3,582,276	3,582,276
利益剰余金	7,685,048	7,903,774
自己株式	△638,014	△638,014
株主資本合計	13,385,991	13,604,717
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	27,356	66,002
為替換算調整勘定	△163,669	△360,173
退職給付に係る調整累計額	△9,408	△9,001
その他の包括利益累計額合計	△145,720	△303,172
新株予約権	31,042	42,679
非支配株主持分	226,983	223,634
純資産合計	13,498,296	13,567,859
負債純資産合計	34,760,600	33,374,002

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年12月31日)
売上高	17,775,108	21,825,918
売上原価	14,674,026	18,003,098
売上総利益	3,101,082	3,822,819
販売費及び一般管理費		
役員報酬及び給料手当	1,097,709	1,172,356
賞与引当金繰入額	51,819	73,784
福利厚生費	48,821	45,880
賃借料	99,057	102,653
業務委託費	87,395	89,491
研究開発費	195,498	310,354
減価償却費	175,654	174,990
その他	1,129,259	1,326,735
販売費及び一般管理費合計	2,885,216	3,296,247
営業利益	215,866	526,572
営業外収益		
受取利息	13,721	15,021
受取配当金	4,963	8,183
投資有価証券評価益	16,897	—
為替差益	25,912	81,451
受取賃貸料	9,422	10,483
その他	12,362	25,974
営業外収益合計	83,278	141,114
営業外費用		
支払利息	32,422	46,824
ファクタリング料	—	220
社債発行費	6,024	—
持分法による投資損失	27,816	—
その他	4,776	14,876
営業外費用合計	71,039	61,921
経常利益	228,105	605,766
特別利益		
固定資産売却益	2,058	7,308
負ののれん発生益	—	20,829
その他	—	3
特別利益合計	2,058	28,141
特別損失		
固定資産除売却損	9,228	8,701
その他	—	6
特別損失合計	9,228	8,708
税金等調整前四半期純利益	220,935	625,199
法人税、住民税及び事業税	431,586	103,022
法人税等調整額	△127,328	115,436
法人税等合計	304,257	218,458
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△83,322	406,740
非支配株主に帰属する四半期純利益	49,802	9,438
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△133,124	397,301

(四半期連結包括利益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年12月31日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△83,322	406,740
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△14,345	39,398
為替換算調整勘定	△70,155	△196,503
退職給付に係る調整額	165	406
その他の包括利益合計	△84,335	△156,698
四半期包括利益	△167,658	250,041
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△217,521	239,850
非支配株主に係る四半期包括利益	49,862	10,191

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

(セグメント情報)

I 前第3四半期連結累計期間(自平成27年4月1日至平成27年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			合 計	調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	ディスプレイ 関連事業	メカトロニクス 関連事業	クリーニング その他関連事業			
売上高						
外部顧客への 売上高	10,694,440	5,996,114	1,084,553	17,775,108	—	17,775,108
セグメント間の 内部売上高又は 振替高	—	—	—	—	—	—
計	10,694,440	5,996,114	1,084,553	17,775,108	—	17,775,108
セグメント利益	104,927	392,384	113,819	611,130	△395,264	215,866

(注) 1. セグメント利益の調整額△395,264千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であります。全社費用は、主に親会社の本社管理部門に係る費用であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの資産に関する情報

第2四半期連結会計期間において、日本ガーター株式会社(現、ワイエイシイガーター株式会社)の株式を取得し、連結の範囲に含めたことにより、前連結会計年度の末日に比べ、「メカトロニクス関連事業」のセグメント資産が4,700,043千円増加しております。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。

Ⅱ 当第3四半期連結累計期間(自平成28年4月1日至平成28年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			合 計	調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	ディスプレイ 関連事業	メカトロニクス 関連事業	クリーニング その他関連事業			
売上高						
外部顧客への 売上高	10,854,262	9,848,018	1,123,637	21,825,918	—	21,825,918
セグメント間の 内部売上高又は 振替高	—	—	—	—	—	—
計	10,854,262	9,848,018	1,123,637	21,825,918	—	21,825,918
セグメント利益	336,988	467,790	122,998	927,778	△401,205	526,572

(注) 1. セグメント利益の調整額△401,205千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であります。全社費用は、主に親会社の本社管理部門に係る費用であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの資産に関する情報

第2四半期連結会計期間において、ミュキエレクトクス株式会社の株式を取得し、連結の範囲に含めたことにより、前連結会計年度の末日に比べ、「メカトロニクス関連事業」のセグメント資産が2,596,464千円増加しております。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な負ののれん発生益)

第2四半期連結会計期間において、ミュキエレクトクス株式会社の株式取得により「メカトロニクス関連事業」セグメントにおいて20,829千円の負ののれんの発生益を計上しております。